

11/22
福井

高齢者貧困 110人が理解

福井講演やパネル討論

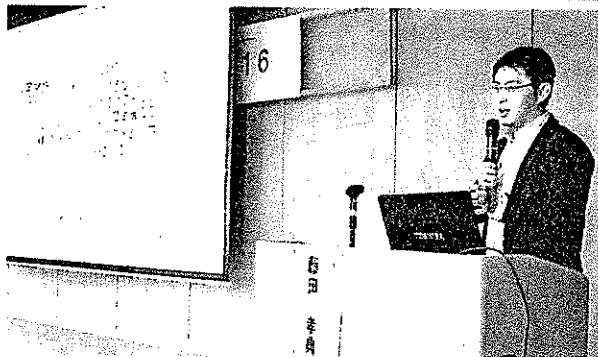
格差社会の解消を目指す

「つながろう福井 反貧困キ
ャラバン2016」(福井新
聞社後援)が19日、福井市の
県教育センターで開かれた。
高齢者の貧困をテーマに、市
民ら約110人が講演などを
通して、貧困の現状について
理解を深めた。

県内の弁護士会や司法書士
会、労働団体などでつくる実
行委員会が主催し、12年から

毎年開いている。

「下流老人」の著者で、生
活困窮者支援のNPO法人
「ほっとプラス」(埼玉県)
の藤田孝典代表理事が講演。
高齢者の貧困率は約18%で、
単身高齢男性になると38%、
単身女性では5割を超えると
し「高齢期は誰もが貧困に陥
る可能性がある」と指摘した。
生活保護基準相当で暮らす
高齢者や、その恐れがある高



齢者は約700万人と推測。
「憲法25条にある健康で文化
的な最低限度の生活を営む権
利を強く求めていく必要があ

る」と訴えた。

県内の医療関係者や社会福
祉士らによるパネル討論もあ
り、病気になるっても経済的に
受診できない高齢者の現状な
どが紹介された。

キャラバンに先立ち、18日
には県、福井市、県議会、同
市会に対して貧困の改善を求
める要望書を提出。ほかの県
内市町、市町会にも同様の要
望書を郵送した。

(堀英彦)

「反貧困キャラバン2016」
で講演した藤田さん。19日、
福井市の県教育センター。